

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

SRS CS Autoの設定をする

エフェクトモードでのみ設定できます

SRS CS Auto™とは

Circle Surroundデコーダーによる車載用に特化したサラウンドシステムです。また、センタースピーカーやサブウーファーを使用せずに、5.1 chに相当する音場を再現できます。

1 オーディオチューン画面(P.120)から

◀ ▶で「SRS CS Auto」を選択



- 選ぶごとに、音響効果が切り換わります。
音の匠→SRS CS Auto→DSP→OFF
↑

2 詳細設定を選ぶ

3 設定する項目を選ぶ

●FOCUS

感覚的に耳の高さから音が聞こえるように設定できます。

●TruBass

低音の強さを設定できます。
サブウーファー使用時は重低音を楽しめます。

●MixToRear

フロントチャンネルにセリフとBGM、リアチャンネルに効果音などが収録されているDVDなどは、後席ではセリフが聞き取りにくい場合があります。Mix To Rearを設定すると、リアスピーカーにフロントチャンネルの成分(セリフなど)もあわせて出力されるので、サラウンドの臨場感を保ったまま、後席でもセリフなどを聞きやすくなります。

お知らせ

- AUDIO OFFや、高音質モードの状態では設定できません。
- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。
- エフェクトがSRS CS Autoのときは、FADE/BALANCEを調整しても効果がありません。
エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、FADE/BALANCEの設定が有効になります。
- エフェクトをSRS CS Autoに切り換えると、イコライザーは自動的に「OFF」に切り換わり、設定できなくなります。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、イコライザーを設定できるようになります。
- SRS CS Auto設定時にスピーカー設定を調整しても、効果がありません。

DSPの設定をする

エフェクトモードでのみ設定できます

1 オーディオチューン画面(P.120)から

◀ ▶で「DSP」を選ぶ



- 選ぶごとに、音響効果が切り換わります。
音の匠→SRS CS Auto→DSP→OFF
↑

2 ◀ ▶でサラウンドを選ぶ



- H A L L : コンサートホール風の音場
- STADIUM : スタジアム風の音場
- CHURCH : 教会風の音場
- L I V E : ライブハウス風の音場

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、SRS CS Auto、DSPを同時に設定することはできません。

車速連動音量を補正する

車両が走行する速度に連動してオーディオの音量を自動的に補正します。

オーディオチューン画面(P.120)から

車速連動VOL補正の程度を選ぶ

